

体験入学・セミナー日程

城内キャンパス（第1校地）と久野・萩窪キャンパス（第2校地）で同時開催

体験入学セミナー・学校説明・相談会 <午前9時〜>

- 第1回 7/29(土)
- 第2回 8/26(土)
- 第3回 9/9(土)
- 第4回 9/30(土)
- 第5回 10/7(土)
- 第6回 10/21(土)
- 第7回 10/28(土)
- 第8回 11/18(土)
- 第9回 11/25(土)
- 第10回 12/2(土)
- 第11回 12/9(土)
- 第12回 2024/1/13(土)

7/29(土)は「第2校地フェスティバル」を開催します

文化祭

—見学と相談会—

11/11(土)
<午前10時〜午後2時>

中学生と保護者の皆さんは
見学できます。
お問い合わせは旭丘高校
事務所まで。

2024(令和6)年度生徒募集

募集定員 533名(推薦266名、一般267名)

募集学科 ■ 普通科(男女)270名 ■ 総合学科(男女)263名

※ 総合学科には「大学進学クラス」のジェネラルクラス(学業)進学クラス・スポーツ進学クラスの2つと、「国際クラス」「進路探求クラス」「不登校ベーシッククラス」があります。

※ 総合学科の大学進学クラス(学業とスポーツ)と国際クラスには大学進学者を対象にした「特別奨学生制度」(主として学業に関するものと主としてスポーツ・個性に関するものの2種類)があります。

詳細は本校体験入学の特設講座や地区別相談会などの場でおたずねください。

※ 普通科には「一般クラス」「クリエイティブクラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

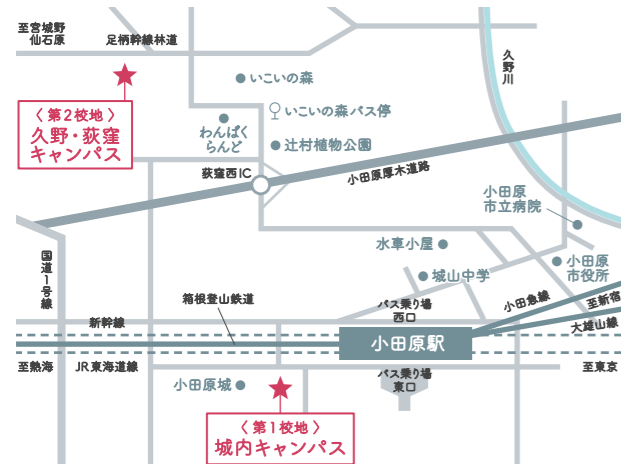
体験入学は
本校ホームページより
参加申し込みができます。



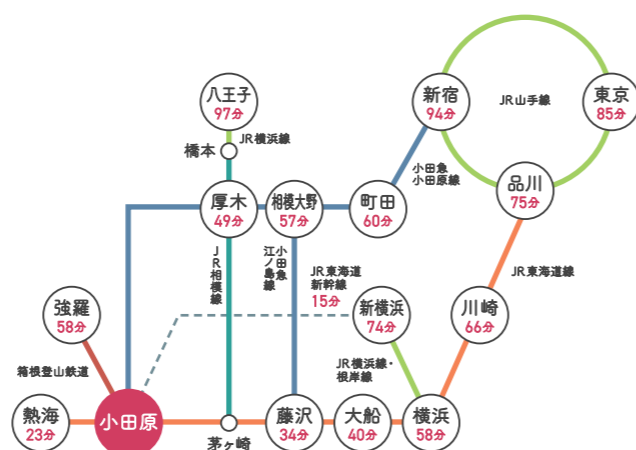
▲「ミライコンパス」にアクセス!

ACCESS

小田原駅からのアクセス 車・徒歩



小田原駅までのアクセス 電車・新幹線



!HPもチェック!



<http://www.niina-gakuen.jp>

学校法人新名学園 旭丘高等学校

第1校地 | 〒250-0014 神奈川県小田原市城内1番13号
TEL 0465-24-2227(代) FAX 0465-22-0216

第2校地 | 〒250-0042 神奈川県小田原市萩窪1980
TEL 0465-21-0660(代) FAX 0465-21-0680

一人ひとりの進路を拓く

学校法人新名学園
旭丘高等学校

SCHOOL
GUIDEBOOK
2024



時代を見つめた教育を展開し
生徒の未来を拓きます

Think Globally, Act Locally

新名学園旭丘高等学校は、昨年10月1日に創立120周年を迎えました。
これまで「小田原のまちが教室」として地域とともに歩み、
オリジナリティあふれる教育プログラムを開発し、
生徒一人ひとりの個性を輝かせ、それぞれの未来へ羽ばたかせてきました。
そして今、Think Globally, Act Locallyの視野をもった
足もとからのグローバル教育も展開しながら
「次代の旭丘」の創造を目指していきます。

個性を育む教育 一人ひとりの豊かな進路を拓く

CONTENTS

01	一人ひとりの豊かな進路を拓く	22	>>> 【総合学科】 大学進学・学業進学クラス
03	旭丘高校で活躍している先輩たち	23	>>> 【総合学科】 大学進学・スポーツ進学クラス
05	卒業生たちから中学生へメッセージ	25	>>> 【総合学科】 進路探求クラス
08	なりたい自分に近づくために希望の進路を実現	26	>>> 【普通科・総合学科共通】 ベーシッククラス
09	進路・進学を拓く学習支援	27	年間行事
11	自然と共生する総合的スポーツ・文化施設	29	クラブ活動
13	ホームルーム活動 / 長崎修学旅行・平和学習	31	第一校地（城内キャンパス）
14	SDGsと旭丘高校の取り組み / 国際連携教育	33	第二校地（久野・荻窪キャンパス）
15	旭丘高校のキャリア教育	35	卒業生の進路
17	旭丘高校の学科・クラスの構成 / カリキュラム	36	学費支援
19	>>> 【普通科】 一般クラス	37	130周年に向けて/新名学園私学教育研究所/HISTORY
20	>>> 【普通科】 クリエイティブクラス	38	建学の精神を訪ねる / 理事長・学校長からのメッセージ
21	>>> 【総合学科】 国際クラス		



・ 本気になれる 場所がある ・



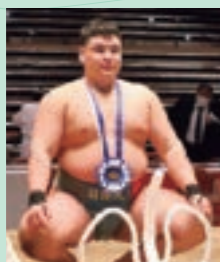
学校生活を頑張っている生徒に聞いてみました。

 <p>伝達力、表現力、説得力が付き、サッカーをする上で役立っています。</p>	 <p>外国人の人とコミュニケーションを取ることができ、本物の英語の発音に触れられたこと。</p>	 <p>1年生だけで公式戦に勝利したこと。</p>	 <p>生活のメリハリをつけられるようになったことや、忍耐力が付きました。</p>	 <p>色々なことに挑戦し続ける大切さを知り、視野を広げ、主体的に行動することを学びました。</p>	 <p>競技面はもちろん、オフザピッチの行動、振る舞い、礼儀を学びました。</p>	 <p>多くのことに挑戦できる環境があり、様々な経験から自分の言動に責任を持つ大切さを学びました。</p>	 <p>仲間との大切さと、仲間と何かを成し遂げていくことの大切さ。</p>	 <p>スポーツクラスで授業内でも部活動があって多く活動できること。</p>	 <p>人間関係が広がり、礼儀を学び、音楽を通じて人を喜ばせてくれることを知り、人として成長できたこと。</p>
Q 学校生活・部活の中で学んだことは?	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 一番嬉しかったことは?	Q 学校生活・部活の中で身につけたことは?	Q 学校生活・部活の中で身につけたことは?	Q 学校生活・部活の中で身につけたことは?	Q 学校生活・部活の中で身につけたことは?	Q 学校生活・部活の中で学んだことは?	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 学校生活・部活の中で学んだことは?
総合学科スポーツ進学クラス3年 窪塚陽大さん (鎌倉市立玉縄中学校出身)	総合学科進路探求クラス2年 井上天太さん (茅ヶ崎市立松浪中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 山口さくらさん (小田原市立城南中学校出身)	総合学科進路探求クラス3年 上田陸斗さん (湯河原町立湯河原中学校出身)	普通科ベーシッククラス3年 菊地琴花さん (茅ヶ崎市立梅田中学校出身)	湘南ベルマーレフットサルクラブU-18	総合学科スポーツ進学クラス2年 勝又陵彦さん (平塚市立中原中学校出身)	総合学科科学進学クラス2年 鈴木まひるさん (寒川町立寒川東中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 渡辺七海さん (湯河原町立湯河原中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 鈴木蓮さん (海老名市立大谷中学校出身)
 <p>先生方が本人のためになるように指導して下さるだけでなく、頑張りや評価をしてくださるところ。</p>	 <p>生徒会長として視野を広く持ち、集団をまとめる力を身につけていく中で自分を鍛えることができた。</p>	 <p>モンゴルから日本に来て、夢を実現するために頑張ることができています。</p>	 <p>吹奏楽部の活動で本当の吹奏楽の楽しさを知ることができました。</p>	 <p>先輩が練習中に声をかけてくれたこと。</p>	 <p>礼儀のほか、リーダーとして周りを見る力がついたこと。</p>	 <p>色々な考え方を持っている人たちと触れ合うことで様々な角度から物事を見れるようになりました。</p>	 <p>スポーツクラスならではのカリキュラムで自分自身を磨き上げることができる。</p>	 <p>諦めない気持ち。人のために、チームのために何ができるかを考える力が身につきました。</p>	 <p>責任ある行動力が身につきました。</p>
Q 旭丘高校のいいところは?	Q 生徒会・部活に入って良かったことは?	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 一番嬉しかったことは?	Q 学校生活・部活の中で身につけたことは?	Q 学校生活・部活の中で学んだことは?	Q 旭丘高校のいいところは?	Q 学校生活・部活の中で身につけたことは?	Q 学校生活・部活の中で学んだことは?
総合学科進路探求クラス3年 須藤大翔さん (相模原市立大野南中学校出身)	普通科一般クラス3年 奥津大雅さん (小田原市立泉中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 アルタンゲレル デルゲルバドさん (モンゴル国Udum Mongol Education School出身)	普通科一般クラス3年 水島愛さん (秦野市立本町中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 寺本悠真さん (藤沢市立滝の沢中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 長塚楓さん (小田原市立酒匂中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 植木心結さん (茅ヶ崎市立浜須賀中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 松崎圭吾さん (小田原市立泉中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 二宮功樹さん (平塚市立金旭中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 杉山怜央さん (平塚市立金旭中学校出身)
 <p>多国籍の人と交流ができること、グラウンドがキレイで体育が楽しいことです。</p>	 <p>勉強以上にここでしか学べない事が溢れている学校です!!</p>	 <p>旭丘でしか受けられない多彩な授業が受けられること。</p>	 <p>入学時は不安だった友達がすぐにできたこと。</p>	 <p>日常の行動が自分にとって大事で、大きく影響することも教えてもらったこと。</p>	 <p>周りが自然が豊かで、生徒同士が仲が良く明るい学校です。</p>	 <p>人との接し方、言葉遣い。感謝の気持ち。諦めない心。</p>	 <p>施設もコースも充実しているの、得意なことをもっと伸ばしましょう!</p>	 <p>自分に合っていると思えるものが必ず見つかります。</p>	 <p>試合で勝った時の高揚感と達成感です!</p>
Q 旭丘高校のいいところは?	Q 中学生の皆さんにヒトコト	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 一番嬉しかったことは?	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 中学生の皆さんにヒトコト	Q 学校生活・部活の中で学んだことは?	Q 中学生の皆さんにヒトコト	Q 中学生の皆さんにヒトコト	Q 一番嬉しかったことは?
総合学科スポーツ進学クラス2年 三浦向陽さん (茅ヶ崎市立松林中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 西川陸さん (海老名市立海西中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 田中結葉さん (小田原市立白山中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 山口拓さん (平塚市立金旭中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス3年 利光蓮弥さん (平塚市立大野中学校出身)	総合学科進路探求クラス3年 徳田怜真さん (湯河原町立湯河原中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 米田海輝さん (小田原市立城南中学校出身)	普通科一般クラス1年 前田彩花さん (平塚市立横内中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 諸星健聖さん (秦野市立西中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 高原梨斗さん (小田原市立泉中学校出身)
 <p>親への感謝や、協力して下さる方々へ感謝を伝えられるようになったこと。</p>	 <p>共に笑い、共に泣ける仲間ができたこと。</p>	 <p>ベーシッククラス中学校に行けていなくても楽しく通える学校です!</p>	 <p>困難を乗り越える力が身につきました。</p>	 <p>チーム全体で成長していけることを感じられるところです。</p>	 <p>第2校地は自然に囲まれ、毎日素晴らしい環境で自由なくサッカーができています。</p>	 <p>自分の能力が目に見えて上がってきたこと。</p>	 <p>仲間と同じ目標をもって楽しく練習する日々を送り、その中で自分に自信が持てるようになった。</p>	 <p>最高のチーム、クラス、先生に出会えたことです。</p>	 <p>音楽を通じて多くの体験ができ、仲間から頼られ、自分を頼れる仲間ができたこと。</p>
Q 生徒会・部活に入って良かったことは?	Q 旭丘高校に入学してよかったことは?	Q 中学生の皆さんにヒトコト	Q 学校生活・部活の中で学んだことは?	Q 生徒会・部活に入って良かったことは?	Q 旭丘高校のいいところは?	Q 一番嬉しかったことは?	Q 生徒会・部活に入って良かったことは?	Q 生徒会・部活に入って良かったことは?	Q 一番嬉しかったことは?
総合学科スポーツ進学クラス1年 根上航平さん (静岡市立高松中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 川端礼さん (横浜市立戸塚中学校出身)	普通科ベーシッククラス2年 石黒颯真さん (寒川町立寒川中学校出身)	総合学科国際クラス3年 田宮愛翔さん (平塚市立横内中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 中髙翔大さん (海老名市立今泉中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 勝又三吾さん (大井町立湘光中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス2年 木下太凱さん (厚木市立依知中学校出身)	総合学科進路探求クラス3年 神山琴音さん (平塚市立春日野中学校出身)	総合学科スポーツ進学クラス1年 善木レオナルドさん (茅ヶ崎市立鶴嶺中学校出身)	総合学科進路探求クラス2年 椎木のあさん (藤沢市立六会中学校出身)



卒業生たちから中学生へメッセージ

旭丘高校では3年間で自分の夢や目標を見つけ、育んだ生徒たちが、その実現に向けて次のステージで頑張っています。イキイキと自分の道を拓いている卒業生たちからのメッセージです。



チョイジルスレンさん

大相撲・阿武松部屋
日本体育大学出身
モンゴル留学生・2018年度
スポーツ進学クラス卒業
(ウブス県ウランゴムス
第2中学校出身)

家族と離れた遠い日本で自分を支え励ましてくれたのは、相撲部の顧問の先生と仲間、クラスメイト、そして保育園・幼稚園の少年相撲で出会ったちびこたちでした。また日本語の分からなかった自分に旭丘高校の先生方が大学で通じる力をつけてくれました。高3のインターハイ個人戦で準優勝だった悔しさをバネに、学生横綱の栄冠を手にしたことが大学での最高の思い出です。大相撲の世界で横綱になることを目指して精進を重ね、いままで支えてくれた人たちに恩返しをしたいです。



増島 冬凱さん

明治大学法学部
2022年度
進路探求クラス卒業
(鎌倉市立第一中学校出身)

ホームルームと学校、そして小田原のまちで様々な人と出会い、どう人との関係を築いていけばいいのか、どう相手を気づかたらよいかを学び、大きな視点で、自分と人との関係を見ることが出来るようになったことが高校3年間の財産です。より自分を高め、そこに集う人たちと切磋琢磨したいと今の進路先を選びました。法律を学び、高校時代の人と人との関係についての関心を更に社会的な視点を持った学びへと発展させたいと思います。



山中 健太さん

東海大学体育学部
2022年度
スポーツ進学クラス卒業
(厚木市立南毛利中学校出身)

高校から陸上競技を始めた自分は、思うよう記録が出せず苛立ち迷いました。しかし顧問の先生の的確な指導と仲間の励ましで自信が持てるようになりました。「基礎体力」の授業で自分の身体を科学し、日々の練習に計画的に取り組み、3年次にはインターハイ11位、国民体育大会全国7位を達成することができました。スポーツを通して相手を尊重する心も培い、将来私は子どもたちの心と体を育てる体育教師を目指して大学で学んでいます。



阿久津 駿斗さん

日本さかな専門学校
2022年度
クリエイティブクラス卒業
(藤沢市立片瀬中学校出身)

私は小さい頃から魚と触れ合い、魚についての発見や感動を記録に残しておきたいと魚の絵をかいて来ました。地球温暖化や海水汚染など魚を取り巻く環境の悪化に心を痛めているなか文化祭でSDGsを知り、新しい世界をつくる運動だと感じました。そして日中青少年書画展に出品し、自分の魚の絵を通して世界の様々な人と繋がっていると感じました。「さかな」とかかわる課題解決に取り組む一人として社会に貢献して行きたいです。



山本 克洸さん

東京藝術大学美術学部
2018年度
進路探求クラス卒業
(茅ヶ崎市立北陽中学校出身)

一人ひとりの個性を大切に伸ばしてくれる旭丘高校の環境で過ごせたことが自分の目標を見出すことにつながりました。希望した大学進学を実現し、個性的な先生や仲間にかくさんの刺激を受け、自分の描く絵画をはじめ物事を枠にとらわれず自由な発想で見ることができるようになりました。いまはこの環境でさらに芸術についての造形を深めるために大学院を目指しています。中学生と母校の後輩の皆さんには、自分の可能性をせばめず、夢に向かって挑戦してほしいです。



梅林 菜さん

旭丘高校非常勤教員
2016年度
ベーシッククラス卒業
(開成町立文命中学校出身)

中学時代に不登校だった自分を、高校生活で支え成長させてくれた旭丘高校の先生たちのようになりたいと教職の道を志望しました。縁あって4月から母校の教員となりました。教科書の枠なかでの指導が当たり前だった前任校とは異なって、旭丘高校では先生方が目の前の生徒の課題に合わせて教材研究や授業づくりを進めていることに驚きました。だからこそ自らの頭で考え行動する生徒たちが育っているのだと実感しています。新しく入学される皆さんとの出会いを楽しみにしています。



野地 高良さん

中央大学文学部
2019年度
スポーツ進学クラス卒業
(箱根町立箱根中学校出身)

子どものころから相撲教室で指導してくれていたのが相撲部顧問の先生だったの迷わず旭丘高校に入りました。高校では文武両道に励み身体へのケアもしっかり教えてもらいました様々な仲間との交流があり、多様なカリキュラムの中で自分のやりたいこと、得意なことを見つけることができるのが旭丘高校の魅力です。自分が子どものころから好きだった文学をさらに大学で学び、将来は子どもたちに相撲や文学を教えたいと思っています。

江原 春斗さん

慶應義塾大学文学部
2021年度 ベーシッククラス卒業
(大井町立湘光中学校)

中学校時代に不登校を経験した自分が、高校では自分らしく学校生活を過ごすことを認めてもらうことが出来ました。そうした中で、高校3年生になって改めて真剣に勉強と向き合いたい、早慶のような大学への進学にも挑戦したいと思うようになり、好きな英語をより活かすことのできる慶應大学を選びました。慶應大学に進学したいと言うと家族も含めて周囲の人たちからは「お前には無理だ」という反応が返って来たのですが、勉強に手ごたえを感じ始めていた自分には、必ず出来るという自信がありました。大学では、知的な豊かさを持った人、向上心のある人に囲まれ、学ぶことが楽しいと感じています。後輩の皆さんにも、誰に何を言われようと、自分の夢とそこに向かう意志を大切にしていってほしいです。

個性を輝かせる教育

「旭丘高校に入って大きく成長した」
あなたもその一人になるはず

本校の生徒に高校生活について話を聞くと「中学時代には考えられないくらい変わった」「自分を表現できるようになった」「目標が明確になった」といった声を多く聞くことができます。一人ひとりの個性にとって、ふさわしいコースで学び、仲間と出会うことで、自分を大きく解放することができます。そのため積極性や前向きな姿勢が身につく、高校生活を満喫しながら、将来のことも真剣に考えて、努力できるようにになります。それが個性を伸ばして輝かせる本校ならではの指導の力です。

なりたい自分に近づくために希望の進路を実現

本校では「学力」の習得、向上とともに希望に応じた進学指導を行い、また豊かで柔軟な「心」を育むためのキャリア教育にも3年間通して取り組んでいます。キャリアガイダンスを随時実施して、一人ひとりに寄り添いながら、自分が学びたいテーマや将来の目標を見出し、それに合わせた進路実現のためのサポートを行っています。

3つの進学コース

- 1 国際クラス** **多国籍の生徒が互いに理解を深め学び合い成長します** P21
将来、国際的なフィールドで活躍したい、という考えをもつ生徒に応えるカリキュラム構成になっています。自分が習得を望む言語を集中的に学べることができ、多国籍の生徒同士による日常生活からも国際感覚が磨かれています。
- 2 大学進学 学業進学クラス** **将来を見据え、それを実現するための大学を目指します** P22
よりレベルの高い大学進学を目指す生徒に応えるクラスです。英数国を重点的に学ぶカリキュラム構成が特徴で、キャリア教育において将来の進路または職業を方向付けて、それに合わせたきめ細やかな進学指導体制を整えています。
- 3 大学進学 スポーツ進学クラス** **スポーツを起点にした進路を拓くことができます** P23
本クラスの進路の特徴は大きく2つあり、一つは高校時代の優れた実績をもとに推薦で大学へ進む「アスリート」タイプと、もう一つは、学校選抜型（推薦型）・総合選抜型入試などを活用して大学へ進むタイプです。 P24

キャリア教育

人間として成長するためのプログラム

学力指導とともにキャリア教育に力を入れている点が本校の大きな特徴になります。各年次ごとに教育テーマを設定し、自主性や社会性を身につけたり、平和を考え国際的な視野を身につけたり、地域社会との共生などを考えたりと、多彩な課題に向き合い、体験をし、「自分自身」を成長させていきます。

P15
P16

課題研究（インターンシップ）

職業体験で新しい視点を獲得する

総合学科3年次に職業体験学習が必修科目となっています。体験を発表し、学んだことや発見したことを総括。職業観や労働観を培い、各職種における専門性などへの理解を深めます。そして自分の希望する進路、職業を叶えていくための上級学校進学への意欲を高めていきます。



ICT教育

情報機器を活用した教育を展開

本校では全教室へWi-Fi環境を整備し、生徒1人1台のタブレット型パソコンを活用した授業を展開しています。教師と生徒の双方向型の授業はもとより、個別学習の充実、生徒の協働学習にも役立っています。また大学や専門家との連携による学びや姉妹校とのオンライン交流にも取り組んでいます。



希望する進路・進学を拓く学習支援

一人ひとりに合ったサポート体制が充実

旭丘高校の進学指導は、生徒が将来の自分の目標を見出し、それに合った上級学校への進学を実現していくキャリア教育が特徴です。学校選抜(推薦)入試・総合選抜型入試とともに、一般入試による大学受験をサポートするカリキュラムと施設の進化・充実を図り、進学実績が向上しています。



「学習室」と「まなびコーチング」による学習支援体制

本校は、放課後に自主学習に取り組むことのできる、情報機器(電子黒板やタブレット型PC等)が整備された「学習室」を設けています。2023年度からは本校と「まなびコーチング」が協力して「学習室」を活用した学習支援体制の充実・進化に取り組んでいます。たとえば平日の放課後と土曜日、夏休み・冬休み・春休みには「学習室」に「まなびコーチング」のスタッフ(教室長とコーチ2名)が常駐し、生徒は以下のような支援を受けられます。



- いつでも「学習室」を訪れ質問をしたり学習指導を受けることができます。
- 自分に合った学習プランを立てるサポートを受け、その後もそれを進めていくなかでアドバイスを受けることができます。
- 進路・進学ニーズに応じ、放課後にさまざまな分野別学習講座を開講します。
たとえば、「進学対応講座」「英検対策講座」「基礎学力定着講座」などがあります。

さらに、オンラインで学習プランについてのコーチング面談を受けたり、学習内容におけるさまざまな質問、相談をすることができます。(24時間受付)

一人一台端末の導入とスタディサプリの活用

2022年度入学生より生徒一人が一台の端末(chromebook)を持ち、情報活用能力を高めるとともに、教師と生徒の双方型の授業づくりが進められています。また「スタディサプリ」を導入し、生徒一人ひとりが自分のニーズに合わせた学習内容を映像で視聴し効率的・効果的に学習を行うことができるようにしています。「スタディサプリ」によって、自ら学習を進めることができ、家庭学習への積極的な取り組みが学力向上につながっています。



学習の課題と見通しをつかむ模擬試験

全ての学科・クラスで、それぞれの学びの特徴や課題に合わせた模擬試験を定期的実施しています。模擬試験の結果を教師が生徒にフィードバックすることで、自分の学習がどこまで進み何が課題なのかを理解し、課題を克服する学習計画を新たに立てます。そして次の模擬試験で学習成果を確かめ達成感を得ることで、さらに意欲を持った学習へ発展させていきます。模擬試験は、自分の目的とする大学・短大・専門学校への合格を果たすための羅針盤にもなっています。



多様な進路のニーズに応えるカリキュラム

生徒一人ひとりの多様な進路に応じた学習をサポートする選択科目の充実も本校の特徴です。大学・短大への進学を希望する生徒には、グレード別の英語・国語・数学の講座や小論文指導の講座が設けられています。また上級学校での専門分野にかかわる検定対策講座や資格取得のための講座も多数配置。夏休み・冬休みには、日常学習をさらに深める理系・文系の進学対応講座や総合選抜型入試に向けたプレゼンテーション講座など、特別集中講座が開講されています。



Voice



環境が良いとやる気につながる

中学校の時には投げ出していた勉強に高校では向き合いたいと思い、放課後学習室に通うようになりました。学習室は、先生がウォーターサーバーを置いてくれたりして、勉強しやすくなる空間がつけられています。勉強で自分が補えていない部分を先生がスタディサプリで配信してくれ、分からないところを確認テストで何度も確かめることができるので理解が進みました。スマホでスタディサプリを使うようになり、登下校の電車の中などちょっとした時間にも勉強する習慣が付きました。

総合科学業進学クラス2年 鈴木まひるさん(寒川町立寒川東中学校出身)

自然と共生する 総合的スポーツ・文化施設

第2校地(久野・荻窪キャンパス)には、生徒たちの総合的な学習の場としてスポーツ・文化の施設・設備が整っています。スポーツ施設としては、バスケットボールコートが2面取れるアリーナ体育館やテニスコート、トレーニングルーム、ボルダリングウォール、相撲場、剣道場とともに公式のサッカーコートと陸上の100メートル直線トラックが具備された夜間照明付人工芝グラウンド(第1グラウンド)、そして現在第1期整備が完了した第2グラウンドです。さらに文化施設としては、木工加工室、電動ろくろと焼成窯を備えた陶芸室、農業実習地、共同炊事室などがあり、校地の中に広がるスギとヒノキの森林や校地の境を流れる川も生徒たちの貴重な学習の場となっています。



Voice

初めての陶芸作品は両親へプレゼントします

高校では運動部への入部を考えていましたが、ろくろや窯などの施設が整っている環境に惹かれて陶芸部へ入りました。初心者でも先生の指導で楽しく取り組んでいます。今は週1回の活動で、夏の窯入れに向けてお猪口や箸置きを制作しています。試行錯誤しながら創り上げていく過程がとても面白いです。ゆくゆくはお皿などもっと大きな作品に挑戦したいです。元々、創作活動に興味があり、今後は美術部にも入ろうか検討しています。



ベーシッククラス1年 正木織紘さん(小田原市立白山中学校出身)

Voice

筋肉痛になるけれど、農作業を楽しんでいます

農業実習では教室2部屋分くらいの農地で、野菜を育てています。今は春に植えたナスやキュウリ、トマトなどがそろそろ収穫の時期を迎えています。畑を耕すと筋肉痛になりますが、もともと花や植物が好きなので作業は楽しいです。座学で株間のとりかたなど育て方を学ぶことも新鮮で役に立ちます。収穫した野菜を早く食べてみたいです。またこれから1年間通して旬の野菜を育てていくことも楽しみです。



ベーシッククラス3年 三木茜さん(平塚市立中原中学校出身)

第二校地の2つのグラウンド

第二校地新総合計画に基づき
2020年に整備された
久野・荻窪キャンパス総合グラウンド



第二校地全体図



人工芝グラウンド



第2グラウンド

Voice

全国大会出場を目指して頑張っています

中学でサッカーのクラブチームでプレーしていました。人工芝のサッカーグラウンドのある旭丘高校の素晴らしい環境のもとで練習してもっと上手になりたいと思いました。練習を重ねて、できなかったことができるようになることが一番嬉しいです。部員は40人ほどいますが、僕はボランチとしてAチームに入っているので、スタメン出場できるように頑張りたい。部としては全国大会出場を果たしたいです。



総合学科スポーツ進学クラス1年 原歩夢さん(大磯町立国府中学校出身)

学校生活の根拠地・ホームルーム

みんなで考え討議してより良い学校をつくる



ホームルーム活動は50年以上前から始まった、本校の伝統的取り組みです。毎週のホームルームで班長会を中心に各クラスの問題点解決の話し合いや学校行事の方針決めなどが討議されます。これは生徒一人ひとりの意見や考えを汲み上げるもので本校の「生徒の主体性」を重んじる校風の表れでもあります。またPTA、教職員、同窓会などで構成される「全学協議会」にも参加しカリキュラムや校則、施設について討議するほか、生徒や保護者が参加しての「授業参観」を通しより良い授業などについて話し合う機会もあります。さらに「公開まちづくりシンポジウム」などにも参加し幅広い視野、思考をもつための機会を提供しています。

Voice



私は1年のときに班長として活動し、3年の今は、班長と学年委員そして学年委員長を兼任しています。ホームルームではクラスのさまざまな課題とその解決方法を話し合い、学校行事の方針をとりまとめています。この活動を通して問題を自分ごととして捉えるようになり、取り組みの結果として改善できたりするとやりがいを感じます。また積極性が身につく、コミュニケーション能力が上がったことも、入学前には想像できなかった姿だと実感しています。

総合学科進路探求クラス3年 山口達也さん(平塚市立浜岳中学校出身)

SDGsと旭丘高校の取り組み

本校独自の問題意識がSDGsにつながっています



全学の代表で私学助成の街頭署名

誰一人取り残さない社会を目指して国連で採択された「SDGs—持続可能な開発目標」に対して、本校では独自の活動を展開。「質の高い教育」に関しては私学助成運動にいち早く取り組んできました。「環境」に関しては地域自治会の久野川・山王川一斉清掃活動に参加。「平和」に関しては長崎修学旅行・平和学習を継続しています。このほか「ジェンダー」に関しては女子制服へのスラックス導入などもあげられます。振り返るとまずSDGsありき、ではなく本校が伝統的に学校や社会の問題に目を向けてホームルーム等を通して、地域と共同して解決してきた取り組みが、SDGsとつながっている結果になっています。



久野川・山王川一斉清掃

Voice



長年続けている私学助成運動については自分たちの権利として、今年も署名運動を行っていきます。ジェンダーについては、生徒が気持ちよく学生生活を送るための要望をアンケートなどからとりまとめて学校に提案します。こうした取り組みを通してSDGsは私たちの日常生活と深く関わっていることを理解し、視野や考え方を広げるきっかけにもなりました。また生徒会総務の活動では生徒の代表として行動する機会も多く、自分を成長させることができていると思います。

総合学科進路探求クラス3年 村山瑠唯さん(秦野市立北中学校出身)

長崎旅行と平和学習

人類史的価値〈平和のうちに生存する権利〉を学ぶ



2年次には、長崎修学旅行での現地学習を節目とする平和学習の年間のカリキュラムが本校独自のユニークな総合学習として展開されます。事前学習は原爆を自然科学・社会科学の両面からとらえた理科と社会科の先生による特別授業、亡くなった被爆者の方の数(七万数千羽)を目標とした折り鶴づくりに取り組みます。さらに、長崎現地での平和学習は①被爆地で被爆体験を聞く、②原爆資料館で被爆の実相を読み取る、③被爆者の方々と共に碑めぐりを行い原爆の落ちたあの日を確かにイメージ化する、④爆心地公園で平和宣言を行う、⑤平和学習を総括する集いを持つ、の5段階で構成されています。そして、事後には文化祭で各クラスが平和をテーマとした企画に取り組みとともに、合唱構成詩づくり50字メッセージ集づくりに取り組みます。現代における核の問題に目を向け、「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向に触れるなかで人類史の到達点としての「平和のうちに生存する権利」を学びます。

Voice



修学旅行ではとても貴重な体験をしました。原爆資料館では想像を超える被爆の実態を知り、被爆者の方の話も聞くことができました。体験を直接聞けるのは私たちが最後の世代なので、身が引き締まる思いでした。また被爆地も案内してもらい、爆風で壊された痕跡なども見学しました。みんなで取り組んだ50字メッセージでは、平和と核兵器のない世界について、それぞれの思いが伝わってきました。私も核兵器を使うことはもちろん、脅しなどにも使うべきではないと強く思いました。

普通科クリエイティブクラス3年 林咲吾さん(茅ヶ崎市立西浜中学校出身)

国際連携教育

中国姉妹校との交流・提携



学園創立110周年を機に位置づけた「国際連携教育」。これまで中国の西安外国語大学附属西安外国語学校および安陽市開発区高級中学との間で生徒たちが相互訪問し、ホームステイや、日中高校生文化・スポーツ交流を行ってきました。また、「治水神」として崇められる中国古代夏王朝の禹王の碑を、西安の碑林と酒匂川上流の碑文で読み解く「日中高校生共同フィールドワーク授業」で交流しました。最近ではコロナ・パンデミックで直接の交流は止まっていますが、地球温暖化問題にかかわる「カーボンニュートラル」をテーマとした「科学技術祭」に生徒代表が動画作品で参加し「栄誉賞」を受賞。安陽とは日中青少年書画展を通して交流するなど、海を越えた熱い交流が続いています。

Voice



モンゴルの提携校から8人の生徒を迎えて、生徒会総務として交流を深めました。相撲部、剣道部の練習見学をし、相撲部員が作ってくれたちゃんこ鍋と一緒に食べました。片言の日本語を使ってくれたり、英語を交えたりして少しずつ仲良くなりました。モンゴル語が話せないから最初は不安でしたが、とてもフレンドリーで一気に打ち解けました。でももう少し英語が話せたり、モンゴル語を勉強しておけばもっとコミュニケーションがとれたと思います。その点は今後、頑張りたいと思います。

総合学科国際クラス2年 三浦梨桜さん(小田原市立酒匂小学校出身)

旭丘高校のキャリア教育

ACADEMIC AND CAREER COUNSELING OF ASAHIGAOKA

教育の特徴

本校では、青年期の自立と学びの課題に応えるため、「成長」と「発達」を現実の生活や社会のなかでとらえ、「生活と教育を結合させる」視点で教育課程が編成され、普通科・総合学科の両課程ともに、様々な青年期教育のカリキュラムが配置されています。本校の教育課程は、「自主的民主的な活動と社会参加を通して豊かな学力と勤労を重んじる全面的に発達した人間の育成を図る」という教育目標を具体化したものです。その特徴は以下のような点にあります。

- 01 それぞれの個性と成長過程のなかで、様々な発達の願いと課題をもつ子ども・生徒たちの学びと発達を保障するための多様なカリキュラムが用意されています。
- 02 子ども・生徒の「学力」と「発達」の問題を、教室や学校の枠のなかだけでとらえるのではなく、子ども・生徒が生きて、現実としての生活や社会のなかでとらえようとする視点を持ち、「生活と教育の結合」を図っています。
- 03 生徒たちを「学ぶ主体」としていくことを重視し、生徒たちの「なぜ、何のために、何を学ぶのか」という問いかけに応え、「平和」「人権」「環境」など、現代社会の重要なテーマを各教科の授業と総合学習のなかで積極的に取り上げ、生徒と教師が横並びで取り組む問題解決型の学習を大切にしています。
- 04 教室の中の教科学習と、ホームルーム活動を通じた交わりや行事、地域活動への参加など教科外の活動を結びつけ、生徒が現実のなかから学ぶ課題を見出し、学ぶ意欲や関心、目的をもつことから出発して、人間力の基礎となる豊かな学力を育てます。
- 05 全学協議会や全学教育研究会などの場を通して、生徒・保護者の授業・学習への要求を受け止め、生徒・保護者の参加で授業・カリキュラムづくりを進めています。

COURSE INDEX

● 普通科	一般クラス / クリエイティブクラス	P19～
● 総合学科	国際クラス / 大学進学クラス スポーツ進学クラス / 進路探求クラス	P21～
● 普通科・総合学科共通	ベーシッククラス	P26

進路を拓くキャリア教育

3年間のキャリア教育でつかむ生き方と進路

3年間の高校生活を通して生徒が自立し、現代社会の課題と向き合って自らの進路・職業を選択していくために、各学年に参加・自治・学びの活動に関わるテーマが設定され、教育課程全体を通じたキャリア教育が展開されています。1年次のテーマは「交わりと自治」、2年次は「平和と人権」、3年次は「進路と生き方」です。

1
年次

人と交わる力を養い 社会的自立の基礎を築く

生徒会主導のもと、ホームルームを基礎として、体育祭・文化祭・社会見学・修学旅行・卒業を祝う会などの様々な行事に取り組みます。生徒自身が目標を立てて、クラス全員が活躍できるよう工夫。充実した高校生活を送るなかで、人と交わる力を養い、社会的自立の基礎を築いていきます。

2
年次

ナガサキ平和学習で 「平和のうちに生存する権利」を学ぶ

長崎修学旅行を節目に「核と平和」の問題に視野を広げ、被爆の実態や「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向にも触れて、「平和のうちに生存する権利」を学びます。原爆を自然科学・社会科学両面からとらえた学習、亡くなった被爆者の数に相当する7万数千羽を目標とした折り鶴づくり(事前学習)、合唱構成詩づくり(まとめの事後学習)などを行います。

3
年次

3年間で学んだ3つの力で 「大きな進路」と「小さな進路」を決定する

3年間の、仲間との共同や地域・社会と向き合う学びで得た「手をつなぐ力」「平和を愛する力」「物事を科学する力」をベースに、2つの進路を決定します。人類社会や日本、地域の未来の見通しをつかむ「大きな進路」と、自らの具体的な進学先や就職先などの「小さな進路」です。大学の先生や企業の方を招いた進路ガイダンスや三者面談、履歴書の書き方や面接の受け方など、丁寧な進路指導が行われます。

自らの進路を拓く力の形成へ

旭丘高校の学科・クラスの構成

一人ひとりの個性と進路の求めにこたえる多様・多彩なカリキュラム



普通科

- 一般クラス** (P19)

青年期の発達課題にかかわる普通教科目を中心にカリキュラムを編成。進学・進路選択講座群で進路に応じた学びを展開。
- クリエイティブクラス** (P20)

学び直しと基礎学力向上で進路を拓く。「ことば」(言語)と「かず」(数量)の習得を生活や交わりと結んで図る。

普通科の標準的カリキュラムモデル

大学での学びの土台となる広い基礎教養を身につけたい人の学習モデル (一般クラス)

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学I	化学基礎	体育	保健	情報I	英語コミュニケーションI	音楽I	進学・進路選択講座	総合B	ロングホームルーム
2年	現代文	歴史総合	数学II	物理基礎	生物基礎	体育	保健	家庭基礎	英語コミュニケーションII	進学・進路選択講座	総合B	ロングホームルーム	
3年	論理国語	日本史探究	公共	科学と人間生活	体育	英語表現I	美術概論	進学・進路選択講座				総合B	ロングホームルーム

■ 必修・共通履修科目群 ■ 選択科目群 ■ 総合学習の科目群

クリエイティブクラスには1年次・2年次に「言語」と「数量」が2単位ずつ配置されています。

総合学科

- 国際クラス** (P21)

将来国際分野で活躍したい日本人の生徒と日本で生活する外国籍の生徒が共に学び大学など上級学校への進路を拓く。外国籍の生徒には日本語学習のカリキュラムあり。
- 大学進学クラス** (P22) (P24)

※大学進学を目指して高校3年間を過ごす

 - 学業進学クラス**

将来学びたい内容や就きたい職業を見出し大学での専攻分野を定める。国語・英語・数学の特別講座など進学に向けた科目選択が出来る。
 - スポーツ進学クラス**
 - ・スポーツ実績(全国大会出場など)を基に大学へ推薦入学
 - ・文武両道の学びを深め指定校・公募推薦・総合選抜入試等を活用してスポーツに関連する分野への進学を果たす。
- 進路探求クラス** (P25)

「情報」「国際」「ビジネス」「福祉」「スポーツ」「アート」「技術・農業」などの分野から科目選択し自分独自の時間割りで学ぶ。3年次には地域の事業所で働くインターンシップの授業あり。

総合学科の標準的カリキュラムモデル

学校選抜型(推薦)入試で情報系の大学や専門学校への進学を目指す人の学習モデル (進路探求クラス)

1年	産業社会と人間	現代の国語	言語文化	数学I	化学基礎	体育	保健	情報I	英語コミュニケーションI	簿記	総合技術I	ビジネス情報処理I	総合B	ロングホームルーム		
2年	歴史総合	地理総合	科学と人間生活	体育	保健	家庭総合	総合技術II	プログラミング入門	マルチメディア活用I	情報の活用I	ビジネス情報処理II	資格の簿記I	流通経済入門	探求英語	総合B	ロングホームルーム
3年	公共	体育	家庭総合	芸術選択	プレゼンテーション	マルチメディア活用II	情報の活用II	資格の簿記II	マーケティング入門	経営分析II	課題研究(コンピュータ事務作業を体験)		総合B	ロングホームルーム		

■ 必修・共通履修科目群 ■ 進路とキャリアにかかわる科目群 ■ 選択科目群 ■ 総合学習の科目群

学業進学クラスでは、国語と英語の科目が増単位され、選択科目で進学対応講座を履修できます。また、3年次の「課題研究」は進学特別講座を選択することもできます。(進学特別講座は、他クラスの希望する生徒も受講できます。)

スポーツ進学クラスには、この他に「基礎体力」「武道」「スポーツ実習」が必修化されています。

国際クラスでは、日本語を母語としない生徒(外国籍の生徒など)の日本語学習が位置づけられているとともに、日本人の生徒には英語とともに中国語・韓国語・イタリア語・モンゴル語や国際理解などの講座が選択できます。



- ベーシッククラス** (P26)
 - 普通科**
 - 総合学科**

不登校生徒の再チャレンジをサポート。「学び直し」・「交わりと自立」・「進路を拓く力」を重視する全日制課程のカリキュラムを編成。

ベーシッククラスの標準的カリキュラムモデル (総合学科)

1年	産業社会と人間	現代の国語	言語文化	地理総合	数学I	体育	保健	情報I	英語コミュニケーションI	基礎の数学	ことばと交わりI	からだI	総合B	ロングホームルーム
2年	歴史総合	日本史探究	化学基礎	体育	保健	家庭基礎	総合技術	総合選択科目	ことばと交わりII	からだII	総合B	ロングホームルーム		
3年	公共	科学と人間生活	体育	芸術選択	総合選択科目	総合選択科目 課題研究(インターンシップ)	ことばと交わりIII	からだIII	総合B	ロングホームルーム				

■ 必修・共通履修科目群 ■ 学校設定科目群 ■ 進路とキャリアにかかわる科目群 ■ 選択科目群 ■ 総合学習の科目群

普通科ベーシッククラスの生徒は、選択枠で普通科科目を履修できます。

総合学科ベーシッククラス総合選択科目には、進路探求クラスと同様に多彩な選択科目が配置されています。



普通科

一般クラス

普通科

クリエイティブクラス

自分の関心分野を伸ばし将来の進路へつなげます

知識と学力を身につけ伸ばす、一般教科、普通科目群を中心にカリキュラムが組まれています。2、3年次に普通科目を中心とした多彩な進学・進路講座を設けています。そのため自分自身の関心や進路目標に合わせて学ぶことができ、得意分野の強化と苦手科目の克服が図れます。また学校生活においてはクラスや学年の課題、各種行事の取り組みについて話し合う「ホームルーム」活動を中心に、物ごとに主体的に関わる姿勢を身につけ、仲間と共同する素晴らしい体験をします。このほか平和、人権、環境などの問題について学ぶカリキュラムにも特徴があります。



学び直しから学力を発展させ豊かな人間性も育みます

小中学校のときに、何らかの理由で学習に対する困難や苦手意識を抱えてきた人や、高校生活で学び直しをして進路を拓きたいという意欲を持っている人を迎え入れているクラスです。主に1年次は小・中学校の学び直しから基礎学力を回復し、2年次以降は基礎を応用・発展させていきます。段階的なカリキュラムで無理なく学び、進学を希望、実現する生徒も多くいます。またさまざまなバックボーン、個性をもったクラスメイトと日々ふれあいながら、学校行事や地域活動などへの参加を通して、他者と関わり、交わることで豊かな人間性を育みます。



Voice



部活動が勉強にも良い影響をもたらしました

将来的に保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の3つの資格が取れたらいいな、とあって、現在進学先を検討中です。高校で目標が具体的に変わったのは、吹奏楽部での活動が充実して、それが勉強にも良い影響をもたらしたのだと思います。毎日「今日も頑張ろう!」と思える高校生活を送れて幸せです。

普通科一般クラス3年 水島愛さん(秦野市立本町中学校出身)

この授業が好き

「体育」が好きです。旭丘高校の「体育」は運動が苦手な人も自分の力を発揮できるよう先生が工夫して指導してくれます。様々な競技で体を動かすのが爽快で最高です。

Voice



目標に向けて残りの学生生活、全力疾走します

1年の後半から学年委員会に入り、昨年から生徒会長を務めています。生徒会活動を通して積極性やリーダーシップが身につく、中学時代の自分からは想像できないくらい成長しました。学業面でも将来は教師になりたいという目標ができて塾にも通い、また部活も入っているので忙しいですが、日々充実しています。

普通科クリエイティブクラス3年 奥津大雅さん(小田原市立泉中学校出身)

この授業が好き

一番好きな科目は「数学」です。論理的な思考を駆使するところであったり、あるいは常識とはかけ離れた部分に触れることができるのも数学の魅力です。



総合学科

国際クラス

世界を舞台に活躍することを目指したカリキュラムです

将来、国際社会で活躍したいと考える生徒、日本で生活する外国籍の生徒がともに学ぶクラスです。日本人と外国籍の生徒が共通して受ける授業と選択制の授業があります。日本人の生徒は特に大学進学に必要な外国語の習得、外国籍の生徒は日本語能力検定N2以上の習得を目標としています。また英語やスペイン語を母国語とする生徒はその言語力を活用して大学入試に挑戦するケースもあります。

日常生活においては、国を超えて言語を超えて友情が育まれ、お互いの国の事情や文化などを理解し合う、文字通りの国際交流、国際教育が実現しています。



Voice



薬剤師になって国際舞台で活躍したい

私はカンボジア出身で、外国人がいるほうが学びやすいと思いこのクラスを志望しました。高校では日本語と英語の勉強に力を入れ、日本語能力検定2級と英検2級を取得しました。今は薬剤師を目指し、そのための受験勉強に取り組んでいます。将来は日本だけではなく国際的な舞台で医療に携わりたいと思っています。

総合学科国際クラス3年 ヘエン・カニカさん(大田区立韮谷学校出身)

この授業が好き

受験に向けて学力アップを図りたい私は「放課後学習」に参加しています。基本的に自主学習ですが、わからないところは先生に聞けるので助かっています。



総合学科

大学進学・学業進学(ジェネラル)クラス

大学進学を重視しきめ細かく充実した指導を展開

大学、短大への進学を目標にしたクラスです。英数国など進学の基礎となる科目を重点的に学ぶカリキュラム構成で、2、3年次の選択科目で受験対策やそれぞれの進路に合った科目を選択。グレード別の「進学特別講座」や学習室では朝学習、放課後学習も行われ、学びの環境が充実しています。また全員がキャリアガイダンスによつて的確なアドバイスを受けながら、志望大学を絞り込んでいくほか、ホームルーム担任も進路指導部と連携して生徒に寄り添う指導を実施。三者面談も全員が行い一般選抜、学校選抜(推薦型)、総合選抜型などを検討していきます。



Voice



国語の教師という将来像が見えてきました

もともと教師に興味はありましたが、高校に入って国語の教員免許を取るという目標が明確になりました。進学先を先生に相談しながら、受験の準備を進めています。生徒の考えを尊重し、やりたいことを全力でサポートしてくれる高校で学んでいることで、私自身、前向きな考え方、姿勢が身についたと思っています。

総合学科大学進学・学業進学クラス3年 佐藤一葉さん(南足柄市立岡本中学校出身)

この授業が好き

「古典朗読」は自分が知らない分野なので、興味をもち選択しました。今は平家物語を読んでいます。期待通り楽しく、新しい世界を探究したいと思います。



総合学科

大学進学・スポーツ進学クラス

体育・スポーツ・健康分野に特徴的な科目を設けています

総合学科のカリキュラムの特徴を活かし、選択科目を多く設けています。そのため大学進学のための基礎となる普通科目と体育・スポーツ・健康分野の科目群をバランス良く学ぶことができます。体育・スポーツ・健康分野の科目は「科学的なトレーニング実践」「基礎理論(身体工学)」「専門的実技(実践)」「スポーツと進路に係わる学習」などの専門性の高い授業を行っています。また午後の実技の授業と部活動を一体化し、スポーツの技量を追究していく体制も整えています。スポーツ関連の学びは充実していますが、「アスリート」を目指して進学する生徒ばかりではなく、医療、健康系をはじめ教育や福祉、経営、観光、情報など進路はさまざまです。一人ひとりの希望の進路実現を目指し、ほかのクラス同様にきめ細かくサポートしています。



Voice



高校から始めたやり投げに全力で向き合いました

陸上部の顧問の先生に誘われて1年の夏からやり投げを始めました。速くに飛ばすことが気持ちいので、毎日の練習も頑張れます。仲間と励ましあい、刺激しあい部活動を楽しんでいます。インターハイ予選の関東大会では11位だったので、最後の大会となる夏の選手権で全力を尽くして、それ以上の成績を目指したいです。

総合学科スポーツ進学クラス3年 長塚楓さん(小田原市立酒匂中学校出身)

この授業が好き

栄養のことや人の身体について勉強できる「基礎体力」の授業をきっかけに、将来、アスリートを支えるスポーツ管理栄養士になりたいという目標が生まれました。

身体を科学する最新機器を「基礎体力」の授業に

「peek a body」は、姿勢分析システムで、peek=見透かすという言葉通り、前後、左右の4方向の写真を撮るだけで、短時間で高精度に身体を透かし見ることができます。これによってミリ単位で姿勢の歪みや傾き、筋肉の硬さ、身体へのリスクなどを把握できます。改善点があった場合は修正していくことで、体調不良のリスクを減らすことはもちろん、スポーツにおけるトレーニング効果やパフォーマンスの向上につなげることもできます。公共のスポーツ機関や大学で採用されているシステムを本校ではいち早く取り入れて活用しています。



3つの中心科目

スポーツ進学クラスならではの科目を取り入れています

基礎体力

各種機器を使用した科学的なトレーニングによって自分の身体の仕組みを知ること、スポーツが人間の身体の健康に果たす役割を自覚するとともに、それぞれが取り組んでいるスポーツの種目に合わせた身体づくりにも役立っています。

武道

礼節という目的も持つ日本独自の武道を授業に取り入れています。目的の一つは日本の伝統文化への理解と関心を深めることです。また技の習得だけでなくスポーツマンとして、または人間として自己形成の土台をつくる目的もあります。

スポーツ実習

学校外の体育施設を利用したり、大学を訪問して教授や学生からの指導を受けたり、専門分野を深めていく実習を行います。授業終了後はそのまま部活動に移行することもでき、野球、バスケットボール、陸上、相撲部などその範囲が拡充しています。

※毎週水・金曜日午後



総合学科

進路探求クラス

「自分だけの時間割」で学び希望進路実現を目指します

1年次に基礎的な知識と技能を習得し、2、3年次に多彩な総合選択科目、自由選択科目から、自分の関心や希望進路に応じて科目を選択できます。情報、ビジネス、国際、福祉、アート、スポーツなど分野別の学習が可能で「自分に合った学び」ができる点が特徴です。キャリアガイダンスでは1年次に「交わりと自治」、2年次に「平和と人権」、3年次に「進路と生き方」を実施。特に3年次は大学、短大、専門学校、就職についてそれぞれの分野の講師を招いて話を聞くガイダンスも行っています。また担任との三者面談で一人ひとりの進路についてきめ細かい指導、サポートを徹底しています。



Voice



大きく成長していることを実感しています

私は中学時代、人前が出るタイプではありませんでしたが、高校で学年委員会に入り、学校行事の運営に携わることで大きく変わりました。行事を成功させるために考え、行動し、クラスをまとめていくことで成長たと実感しています。最後の一年、絆をさらに深めて一体感のある学年をつくりたいですね。

総合学科進路探求クラス3年 遠藤美優さん(二宮町立二宮中学校出身)

この授業が好き

保育士を目指しているので選択授業で「ピアノ」などの保育関連の科目があることが魅力です。今はガイダンスで参加するオープンキャンパスを検討しています。



普通科
総合学科

ベーシッククラス

不登校生徒の成長を見守りサポートします

中学で不登校の経験をもつ生徒の学び直しと、コミュニケーション力を身につける授業を行っています。全日制課程での不登校生徒の受入れは県下唯一です。「ことばと交わり」「からだ」「基礎の数学」といった独自の科目を設けているほか、自主性を重んじるホームルーム活動で成長を後押しします。30人以下の少人数編成のため生活、学習両面で一人ひとりに目の行き届いた指導を実現。2、3年次に本校のほかの学科、クラスへの移行も可能です。学校行事や課外活動はほかのクラスと同様の取り組みになり、キャリア教育などを通して高校で新たな目標を見つける機会を多く設けています。



Voice



管理栄養士という目標を見つけました

昨年、学校の120周年の式典で構成詩を発表し、自分を表現したことで、自信をもつことができました。その後は学年委員会にも加わり、より積極的に学校生活を送っています。将来は「食」に関わる管理栄養士を目指しています。今は担任の先生やほかの学年の先生にもいろいろ聞いて進学先を検討中です。

ベーシッククラス3年 菊地琴花さん(茅ヶ崎市立梅田中学校出身)

この授業が好き

「からだ」の授業のひとつコマで、学校の隣を流れる川を、みんなビショビショになりながら上っていくのが大好き。自然と関わるこのクラス独自の授業です。

SCHOOL EVENTS

年間行事

仲間とともに学校生活

4

APRIL

- 入学式
(新入生オリエンテーション)
- 身体測定
- 内科検診
- 歯科検診

5

MAY

- クローバー祭
(体育祭)
(進学者オリエンテーション)
- 進路適性検査
- PTA総会

6

JUNE

- 中間試験
(就職オリエンテーション等)
- ホームルーム懇談会
- 進路講演会
- 進学模試

7

JULY

- 期末試験
- 全学協議会
- 地域教育懇談会
- 視聴覚教室
- クラブ合宿

8

AUGUST

- 全学教育研究会
(第1部)
- 平和集会
- クラブ合宿
- 夏季進学講座

9

SEPTEMBER

- 就職活動
- 修学旅行
(2年)
- 社会見学
(1・3年)
- 避難訓練

10

OCTOBER

- 中間試験
- PTS懇談会
(三者教育懇談会)
- 進学模試

11

NOVEMBER

- クローバー祭
(文化祭)
- 全学教育研究会
(第2部)

12

DECEMBER

- 卒業試験
- 期末試験
- 全学協議会
- 生徒総会

1

JANUARY

- かるた会
- 全学教育研究会
(第3部)

2

FEBRUARY

- 進路適性検査
- 進学模試
- 卒業を祝う会
- PTA総会

3

MARCH

- 卒業式
- 学年末試験
- 生徒総会

文化祭

Voice



私たちのクラスは「平和と戦争」をテーマに展示物を制作しました。私は平和の象徴としての「大木」をダンボールで作りました。大変でしたがやりきった達成感がありました。また見学者から平和と戦争の雰囲気の変化を評価されたことも嬉しかったです。

ベーシッククラス3年 佐藤大地さん
(茅ヶ崎市立萩園中学校出身)



私は、戦争を表現する展示を担当し、荒廃した街を制作しました。廃棄される机やパソコンを入手して手を加え、がれきなども手作りしました。私たちの展示で見学者に平和の素晴らしさ、戦争のむごさを伝えることができたと感じています。

ベーシッククラス3年 川浦翔さん
(小田原市立城北中学校出身)

体育祭

Voice



クラス全員参加の「ボール送り」は、最初は上手くいかなかったけれど、タイム目標を立てて何度も練習しました。だんだん息が合うようになり、本番ではライバルのクラスよりも良いタイムでみごと1位に！練習の成果を出せて嬉しかったです。

総合学科進路探求クラス1年
栗原幸子さん
(箱根町立箱根中学校出身)



クラス目標で「必勝」ををかけて一致団結して練習や準備に取り組みました。その結果、優勝を勝ち取ることができたので最高でした。体育祭後はクラスの雰囲気も変わり、いい感じでまとまってきたな、という印象ももっています。

総合学科進路探求クラス1年
三武侘農さん
(伊勢原市立中沢中学校出身)



騎馬戦に出場しました。私は騎馬になりましたが三人が離れないように、練習で声をかけ合い呼吸を合わせました。騎手の人とも向かう方向を決めるうえでチームワークを高めました。クラスが2位になれてほっとしました。

総合学科進路探求クラス1年
新藤愛理さん
(平塚市立大住中学校出身)



CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

仲間と鍛える心技体
目標へのチャレンジ

地域にも貢献するクラブ活動

旭丘高校のクラブは、地域の行事やボランティアにも貢献しています。地域で開催される多くのお祭りや催し物では、相撲部がちびっこ相撲の指導をし、吹奏楽部が出演。幼稚園や保育園での相撲指導、クリスマスなどのコンサートにも招かれます。地域ぐるみで取り組まれる山王川・久野川一斉清掃活動にも、生徒会の代表と有志の生徒とともに野球部やサッカー部が部をあげて参加し協力して来ました。



運動部

- 相撲部
- 陸上部
- サッカー部
- バasketボール部
- 野球部
- ボウリング部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式テニス部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- ダンス部
- バドミントン部
- バレーボール部
- AFC(釣り)同好会

文化部

- 吹奏楽部
- 演劇部
- 書道部
- イラスト部
- 合唱部
- ティーコーディネート部
- 軽音楽部
- 交通研究部
- 児童文化部
- 生物部
- 陶芸部
- 農芸部
- 美術部
- 文芸部
- 簿記部

Voice

運動部 インターハイで過去最高の成績を残したい



モンゴルでも日本相撲を習っていたので、日本で本格的に相撲ができることはとても嬉しかったです。毎日3時間ほど稽古をしています。新人戦で関東大会で3位、全国大会団体戦5位、個人戦ベスト16に残りました。もっと稽古して力をつけて、精神面も鍛えたいです。今年はインターハイ、国体があるので良い成績を残せるよう頑張ります。大学でも相撲を続け、将来は力士になりたいです。

総合学科スポーツ進学クラス3年 アルタンゲレル デルゲルバドさん



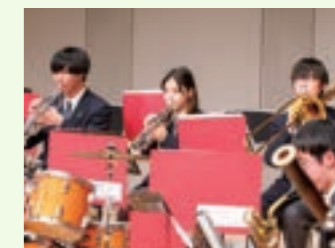
Voice

文化部 県大会出場目指して猛練習中です



吹奏楽部は平日と第2、第4土曜日に活動していて、2時間半ほど練習に励んでいます。今は夏のコンクールの県大会出場を目指し、部長としてみんなを引っ張っています。後輩の成長を感じられるのが嬉しいです。コンクールのほかサマーコンサート、クリスマスコンサート、定期演奏会など演奏を披露する機会がありますが観客の皆さんから拍手をもらえる瞬間が最高です。

総合学科国際クラス3年 田宮愛翔さん(平塚市立横内中学校出身)



《第1校地》

JONAI CAMPAS

城内キャンパス

小田原駅から徒歩5分 史跡と共生「小田原のまちが教室」の校地

キャンパスの特色

- 小田原駅から徒歩5分
- 史跡の緑に囲まれた校舎と校庭
- 小田原城内にある冷暖房完備の近代的校舎
- 高校への進学ガイダンスが充実した入試センター・相談室を常時開設
- バリアフリー施設完成
- 地域の防災センターとなる耐震性に優れた建物
- 新名学園私学教育研究所、400人収容の多目的ホールなど、地域の教育・文化センターの機能アップ
- 安心・安全の施設
- 第1、第2校地ともパソコン100台ずつ配備
- 主に普通科の「学び」の根拠地
- ICT機器を備えた学習室を設置



正門



コンピュータールーム



ホール



図書室

第1校地の主な施設・設備

第1校舎 2001年9月完成(エレベーター付4階建て)

- 〈1階〉 ホール・ホワイエ(総合学習・身体表現・地域交流・食事・憩いの場)
- 〈2~4階〉 普通教室・ゼミナール室、新名(百周年)記念会館(会議室、同窓会室、地域防災庫)

第2校舎 2001年8月耐震改修完了(4階切り取り耐震補強)

- 〈地階〉 生徒会室・PTA・父母懇談会・六者懇談会室
- 〈1階〉 事務室・来賓応接室・入試センター・法人事務室・カウンセリング室・新名学園私学教育研究所
- 〈2階〉 職員室・保護者面談室・放送室・印刷室
- 〈3階〉 普通教室
- 〈屋上〉

第3校舎 2001年3月耐震強化・改修完了

- 〈1階〉 図書室・調理室
- 〈2階〉 コンピュータ室(I)(II)・芸術教室(書道・美術)
- 〈3階〉 理科実験室(I)(II)
- 〈4階〉 音楽室・被服室・ホール

第4校舎 1999年8月完成

- 〈1~3階〉 普通教室、保健室
- ※全棟耐震構造化・空調完備
- ※バリアフリー施設 2008年4月完成

体育館 改修2006年度完了

2階建て、器具庫、シャワー室付

TOPIC

第1・第2校地に学習室整備

生徒たちが朝と放課後、土日に大学進学に向けた自主学習をするための学習室が整備されます。情報機器(タブレットやPC等)を具備し、講義、個別学習、教え合い学習等に対応するスペースを配置しています。



個別学習



グループ学習

KUNO OGIKUBO CAMPUS

久野・荻窪キャンパス

緑豊かな自然と共生 地域と触れ合う教育システム



キャンパスの特色

- キャンパス総面積9万3946㎡
- 緑豊かな立地条件を生かした教育機能整備
- 人工芝総合グラウンドなど地域との関係を意識した学校づくり
- 新しい教育システムに対応したカリキュラムづくり
- 主に総合学科の「学び」の根拠地

第1校地の主な施設・設備

中央センター

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造(エレベーター付)、地上4階・地下1階、床面積8470.20㎡

1号棟 2005年4月竣工

- 〈教室〉 大セミナー室・中セミナー室・小セミナー室(準備室)
- 〈特別教室〉 調理室・試食室・情報室・資料教材室・図書室・視聴覚室・実習室
- 〈管理施設〉 校長室・職員室・面接室・応接室・事務室・用務室・倉庫

2号棟 2007年8月竣工

- 〈教室〉 セミナー室(準備室)、学習室(キャリアカウンセリング室)
- 〈特別教室〉 共同厨房・収蔵庫・生徒食堂・調理実習室・食農教育準備室・総合技術科(情報室、製図・デザイン室)・自然科学系実習室・教材室・カウンセリング室
- 〈管理施設〉 会議室・倉庫

体育館

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地上3階、床面積1958.76㎡

アリーナ 2007年11月竣工

バスケットコート2面、バレーコート2面、バドミントンコート6面、卓球室、多目的室(ダンス等)、視聴覚室、体育科準備室
※アリーナには床暖房設備整備

総合学習室

1号棟 2002年3月改修整備

工作・木工など手しごと・ものづくりの実習室

2号棟 2002年3月改修整備

トレーニングルーム

3~4号棟 2002年3月改修整備

武道場(相撲・剣道)

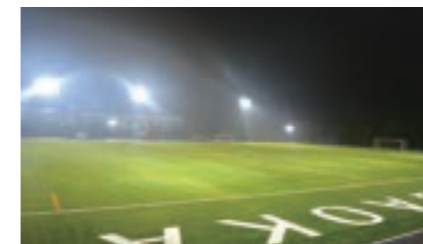
5号棟 2003年4月竣工

陶芸実習施設(電動ろくろ)、窯室・教材準備棟/2003年8月竣工

農地実習地

- 食農教育・総合学習実習施設(農具庫と畑)
- 無農薬野菜栽培実習施設

充実した運動施設



夜間照明付き総合グラウンド



トレーニングルーム



アリーナ



相撲場



剣道場

多種多様な教育設備



調理室



陶芸室



セミナールーム



ボルダリングウォール



校地を流れる川

最近の進路状況

大学

慶應義塾大学	桐蔭横浜大学	鶴見大学	日本文化大学
中央大学	神奈川大学	田園調布学園大学	日本映画大学
青山学院大学	東海大学	多摩大学	東京富士大学
法政大学	亜細亜大学	相模女子大学	東京成徳大学
東京電機大学	関東学院大学	静岡産業大学	東京工芸大学
國學院大学	大東文化大学	西武文理大学	朝日大学
明治大学	拓殖大学	聖学院大学	松蔭大学
明治学院大学	神奈川工科大学	聖栄大学	尚美学園大学
立正大学	産業能率大学	清和大学	淑徳大学
日本大学	桜美林大学	星槎大学	国士舘大学
帝京大学	湘南工科大学	城西大学	高千穂大学
帝京平成大学	横浜商科大学	名古屋商科大学	恵泉女子学園大学
日本体育大学	駒澤大学	北海道情報大学	鎌倉女子大学
順天堂大学	文教大学	和光大学	横浜美術大学

短期大学

小田原短期大学	湘北短期大学	東京交通短期大学	國學院大学栃木短期大学
山野美容芸術短期大学	日本大学短期大学部		

専修学校

ESPエンターテインメント専門学校	横浜ビューティー&ブライダル専門学校	湘中央生命科学技術専門学校	東京服飾専門学校
YMCメディカルトレーナーズスクール	横浜リゾート&スポーツ専門学校	湘南平塚看護専門学校	日本ヒューマンセラモニー専門学校
アーツカレッジヨコハマ	横浜医療秘書専門学校	情報科学専門学校	日本外国語専門学校
アジア動物看護理学療法専門学校	横浜公務員&IT会計専門学校	真野美容専門学校	立志舎
アルファ医療福祉専門学校	横浜実践看護専門学校	神田外国語専門学校	日本さかな専門学校
エコール社東京	横浜調理師専門学校	神奈川社会福祉専門学校	日本工学院専門学校
トヨタ東京自動車大学校	横浜理容美容専門学校	青山製図専門学校	日本工学院八王子専門学校
ホスピタリティツーリズム	外語ビジネス専門学校	専門学校ビジョナリーアーツ	日本体育大学医療専門学校
ヤマザキ動物看護専門学校	原宿ベルエポック美容専門学校	中央歯科衛生士調理製菓専門学校	武蔵野調理師専門学校
医療ビジネス観光福祉専門学校	厚木総合専門学校	町田デザイン建築専門学校	町田製菓専門学校
横浜fカレッジ	厚木調理師専門学校	東京スクール・オブ・ビジネス	町田福祉保育専門学校
横浜こども専門学校	国際動物専門学校	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
横浜テクノオート専門学校	崎村調理師専門学校	東京マックス美容専門学校	茅ヶ崎看護専門学校
横浜デザイン学院専門学校	駿台外語&ビジネス専門学校	東京観光ホテル・トラベル学院専門学校	大原医療秘書福祉保育専門学校
横浜デジタルアーツ専門学校	尚美ミュージックカレッジ	東京自動車大学校	大原簿記医療秘書専門学校

主な就職先

大栄フーズ株式会社	関東シモノハナ物流株式会社厚木営業所	スタンレー電気株式会社	日産工機株式会社
東京濾器株式会社	株式会社やまか	日本貨物鉄道株式会社関東支社	光伸光学工業株式会社
ALSOK双栄株式会社	紀伊産業株式会社 鴨宮工場	横浜ゴム株式会社平塚製造所	株式会社不二家
株式会社横濱屋	株式会社神奈中スポーツデザイン	市光工業株式会社	
株式会社リブ・マックス	神奈川柑橘果工業株式会社	日研トータルソーシング株式会社	
名鉄運輸株式会社厚木支店	神奈川中央交通西 株式会社	富士電設工業株式会社	

旭丘高校は「無償教育」の考え方が基本です



私立高校への手厚い「学費支援制度」で学費の不安や悩みは解決！

後期中等教育(高等学校段階)での学費無償化導入は、国際人権規約第13条にも定められています。旭丘高校は、子どもを「社会の宝」とし、国民みんなでお金(税金)と力を出し合って未来の主権者を育てていく「無償教育」の考え方を学校運営の理念としています。「無償教育」の考え方のもと、学園・保護者・同窓生・地域で協力して国や県の就学支援制度・学費補助制度を充実させるための取り組みをしてきました。



公立高校の授業料は年収約910万円未満の世帯は実質無償化になっていますが、私立高校の学費負担は軽減されないのでしょうか？



国の費用により、私立高校等の生徒の授業料に充てる「就学支援金」が、年収910万円未満の世帯には一律に年額118,800円(公立の授業料分相当の月額9,900円)が支給され、また、保護者の所得によってさらに加算額(年収590万円未満の世帯は年額277,200円を加算)が支給されます。また、その他にも様々な支援制度があります。(下記参照)



私立高校生への県からの「学費補助金」について、教えてください。



① 前年の所得金額が、一定額以下の保護者に対して、県が学校に補助します。
② 対象者は、神奈川県内の私立高校に在学し、かつ生徒と保護者が共に県内に在住していることが条件になっています。
③ 「就学支援金」と併用して利用できますので、この「学費補助」とあわせ、所得区分に応じて、年額最大456,000円から193,200円の幅で支援されます(学校の授業料額が上限です)。



授業料負担がかなり軽減されることはわかりましたが、「入学金」や「施設拡充費」の支援策はないのですか？



授業料だけでなく、入学金についても「神奈川県学費補助金」として100,000円が支援されます。生活保護世帯および県民税・市町村民税の所得割が0円(非課税)世帯は210,000円が支給されます。また、「社会福祉協議会教育支援金」や「母子父子寡婦福祉資金」の制度では、入学準備のための公的支援(貸付)も受けられます。

その他にこんな制度があります

- | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 1 「神奈川県高等学校奨学金」制度(貸与制)一月4万円 | 2 「神奈川県私立学校生徒緊急支援補助金」制度(給付制) | 3 母子父子寡婦福祉資金(貸与制) |
| 4 社会福祉協議会・生活福祉資金 | 5 国の教育ローン | 6 その他の奨学金制度
—あしなが育英奨学金など |

※旭丘高校独自の「新名奨学金制度」もあります。年間14万4000円を貸与。卒業後2年間以内に返還する制度です。

学費の問題で私学への志願を迷っている方へ

ここに紹介した国の就学支援金制度と県の私立高等学校生徒学費補助制度を活用することで、年収700万円未満程度の世帯に対しては、本校授業料が実質無償に、年収700～750万円程度の世帯では月額16,900円、年収750～910万円程度の世帯では月額23,100円に軽減されます。また、県内に在住の場合には、生活保護世帯および県民税・市町村民税が0円(非課税)世帯に対して入学補助208,000円が、年収約590～約750万円未満の世帯に対して入学補助100,000円が受けられます。旭丘高校では、入学金や施設拡充費等、入学時納入金の準備が困難な方に、様々な学費支援制度を紹介し、このような制度の活用によって納入の見通しが立った場合には、入学時納入金の延納措置についても相談に応じています。詳しくは、体験入学セミナーや学校説明会の機会にご相談いただくか、入試センターへお問い合わせください。

VISION

創立130周年に向けて

コロナ禍において教育シーンにおいてもさまざまな制約のあったなかで、本校は昨年120周年を迎えました。その視線はすでに「次の10年」に向けられています。今後のビジョンとして青年期の発達教育の構築をベースに、情報教育、国際連携により力を入れていきます。ICT教育や海外提携校との交流の活発化などがその例です。また生徒の個性、可能性を育て広げていくために進路・進学教育を推進していきます。生徒に寄り添ったきめ細かい進路指導や学習支援体制の充実化などで成果を上げていきます。歴史と伝統を守りながら、時代に即した教育を展開していく本校のこれからにご期待ください。

新名学園私学教育研究所「5つの研究課題」

新名学園私学教育研究所は2009年10月に設置されました。

5つの課題のもと、子どもや生徒、保護者、教職員の現実の課題と結んだ研究活動が進められています。

- 1 私学と無償教育と公費私学創造の課題。
- 2 建学の精神・教育目標に沿った、子ども・生徒の発達研究。
- 3 日本国憲法の平和的生存権の保障、核兵器のない世界に向けた平和教育創造の研究。
- 4 地球環境と地域環境の問題についての研究。
- 5 小田原まちづくりに係る「学校と史跡の共生」「小田原のまちの教育・文化の創造」の課題。

HISTORY

1902	1906	1923	1946	1947	1949	1953	1954	1956	1961	1970	1981	1986	1989	1994	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2007	2009	2010	2012	2014	2016	2020	2022		
学園創立(裁縫・造花・編物伝習所の開設)	私立学校(公の教育機関)神奈川県知事認可	関東大震災で校舎倒壊、同年復興	日本国憲法公布	教育基本法施行	私立学校法施行	普通科開設	現・小田原市民会館にあった校地から現在の第1校地(城内キャンパス)に全校移転完了	学校法人新名学園旭丘高等学校として認可	商業科開設(のち総合学科に発展移行)	私立学校振興助成法制定	第1校地第1次現状変更許可申請(現3棟)	学園総合整備構想(のち計画)策定	国連第44回総会で子どもの権利条約採択(1994年国合批准)	第1校地第1次現状変更許可申請(全棟改築・改修・耐震工事)	旭丘高校の教育を守る会の設立	「高等学校設置基準問題」	教育目標改訂(現行、男女共学制復活実施)	第1校地第1期総合整備完了	第2校地取得	第1校地第2次現状変更許可申請(全棟改築・改修・耐震工事)	第2校地第1期総合整備完了	第2校地第2期総合整備完了	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成	第2校地中央センター11期計画及び体育館完成

旭丘高等学校「建学の精神」

なくてはならぬ指折仲間の人となれ
悪しきとて、ただ一筋に捨つるなよ、
渋柿を見よ、甘干となる

1902(明治35)年に、新名学園旭丘高等学校を小田原の地に開設された新名百刀先生の講話です。生徒一人ひとりの可能性を大切にする建学の精神は、「全面的に発達した人間の育成を図る」とした現在の旭丘高校の教育目標に受け継がれ、国際化、情報化、個性化の「人間の世紀」を担う子どもたちを育てる私学づくりがすすめられています。



学園創立者 初代校長
新名 百刀

- 新名学園創立記念日
毎年10月1日(百刀生誕日)
- 建学の精神を想う日
毎年9月2日(百刀 祥月命日に近い月曜日)

理事長・学校長からのメッセージ



次の10年を見据えて、
世界への視点と地域への視点を併せもった
人材育成を展開します。

新名学園 旭丘高等学校
理事長・学校長
水野 浩

本校は昨年、創立120周年を迎えました。「創立120周年記念式典」は、近隣の自治体や教育関係者のゲストをお招きし、生徒会による運営、進行のもと執り行なわれました。

式典で学園の「過去・現在・未来」が紹介され、吹奏楽部が120周年のために作られた「生想来~KI~O~KU~」を披露。さらに生徒代表が120周年の歴史と展望を表現した「構成詩」を演じました。その内容は各方面から「旭丘高校らしい」とお褒めの言葉をいただきました。この大きな舞台上で力を発揮できる企画力、行動力は日頃から生徒会が進めるホームルームを基礎とする全校生徒自治集団づくりから生まれてきています。

本校は生徒の主体性を育むためにさまざまな機会を作っています。中学時代に不登校を経験した生徒が班長としての活動で自信をつけ、生徒会総務として活躍しているといったケースは決して珍しい「成長の姿」ではありません。学校生活を通して得た気づき、関心、探求心、感動がエネルギーになって「新しい自分」「成長

した自分」「目標をみつけた自分」として結実しています。

これまでの教育方針、プログラムに加え、本校では新たな取り組みがスタートとしています。その一つが「地域立・市民立の私学づくり」を進め、地域と世界を結ぶハブとしての学校づくりです。久野・荻窪キャンパスを地域スポーツ、文化と国際交流の拠点とし、地域の子どもたちに人工芝グラウンドや体育館などの施設を貸し出し、活動の場として提供します。また生徒の進学・進路を保障する環境づくりのため情報機器を備えた「進学・学習室」を整備します。これは国際連携やSDGsなどの活動を通して培った能力をベースにグローバルな視野からの学びを深め、目的意識をもって進学に挑戦する場として設けました。

120周年を経て、本校はすでに次の10年を見据えて動き始めています。多様な生き方を認め合い、世界へ向けた視点と草の根の地域の視点を育み、多様な生き方を認め、自主性をもって未来を拓いていく人材の育成に力を注いでいきます。